

平成27年度の主な事業

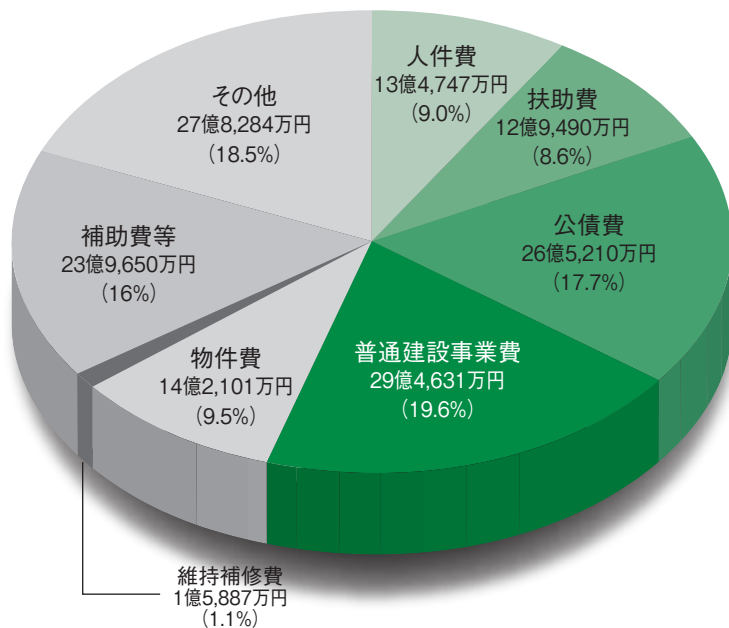
・仁多庁舎整備事業	15億1,400万円
・地域おこし協力隊事業	1,600万円
・移動用通信铁塔施設整備事業(河内、加食、五の畑)	1億100万円
・障害者地域生活支援事業	3,000万円
・予防接種事業	3,400万円
・木質バイオマスチップ製造施設整備事業	2,400万円
・汚泥共同処理施設整備事業負担金	5,000万円
・中山間地域等直接支払事業	3億2,000万円
・多面的機能支払事業	2億4,500万円
・横田肥育センター改修事業	4,900万円
・菌床椎茸生産支援事業補助金	4,800万円
・農業基盤整備促進事業	5,000万円
・道の駅おろちループ大規模改修事業	2,000万円
・町道等道路整備事業	4億6,200万円
・橋梁点検・長寿命化修繕事業	7,400万円
・消防格納庫整備事業	6,700万円
・八川小学校普通教室棟、屋内運動場改築事業	3,100万円
・子ども読書推進事業	1,200万円

平成26年度からの主な繰越事業	
・消費喚起・生活支援事業	5,000万円
・地方創生先行事業	5,200万円

会計別の当初予算

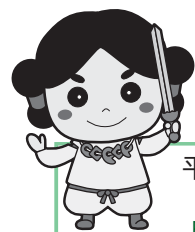
会計名	当初予算額
一般会計	150億円
国民健康保険事業	19億1,900万円
後期高齢者医療保険事業	3億7,954万円
介護老人保健施設事業	3億6,015万円
介護サービス事業	3億7,056万円
訪問看護ステーション事業	1,858万円
特別会計	
簡易水道事業	10億7,936万円
公共下水道事業	2億9,916万円
農業集落排水事業	5億5,960万円
合併処理浄化槽事業	1億6,382万円
仁多発電事業	1億458万円
三井野原スキーリフト事業	1,894万円
国営農地開発事業	2,831万円
農業用小水力発電事業	1億5,630万円
奥出雲病院事業	24億7,572万円
特別会計計	79億3,362万円
合計	229億3,362万円

性質別に歳出をしてみると…



用語の説明

人件費	職員・特別職の給与、議員・各委員会委員の報酬などのお金
扶助費	生活保護、児童手当、医療費などに使うお金
公債費	道路、公共施設整備などのために借り入れた町債の返済に使うお金
普通建設事業費	道路、橋、学校、公園などの建設、整備に使うお金
物件費	業務委託料、使用料、物品調達などに使うお金
維持補修費	公共施設などの修繕に使うお金
補助費等	各種事業、団体への補助金や負担金として使うお金
その他	投資及び出資金、貸付金、積立金などに使うお金



平成27年度当初予算

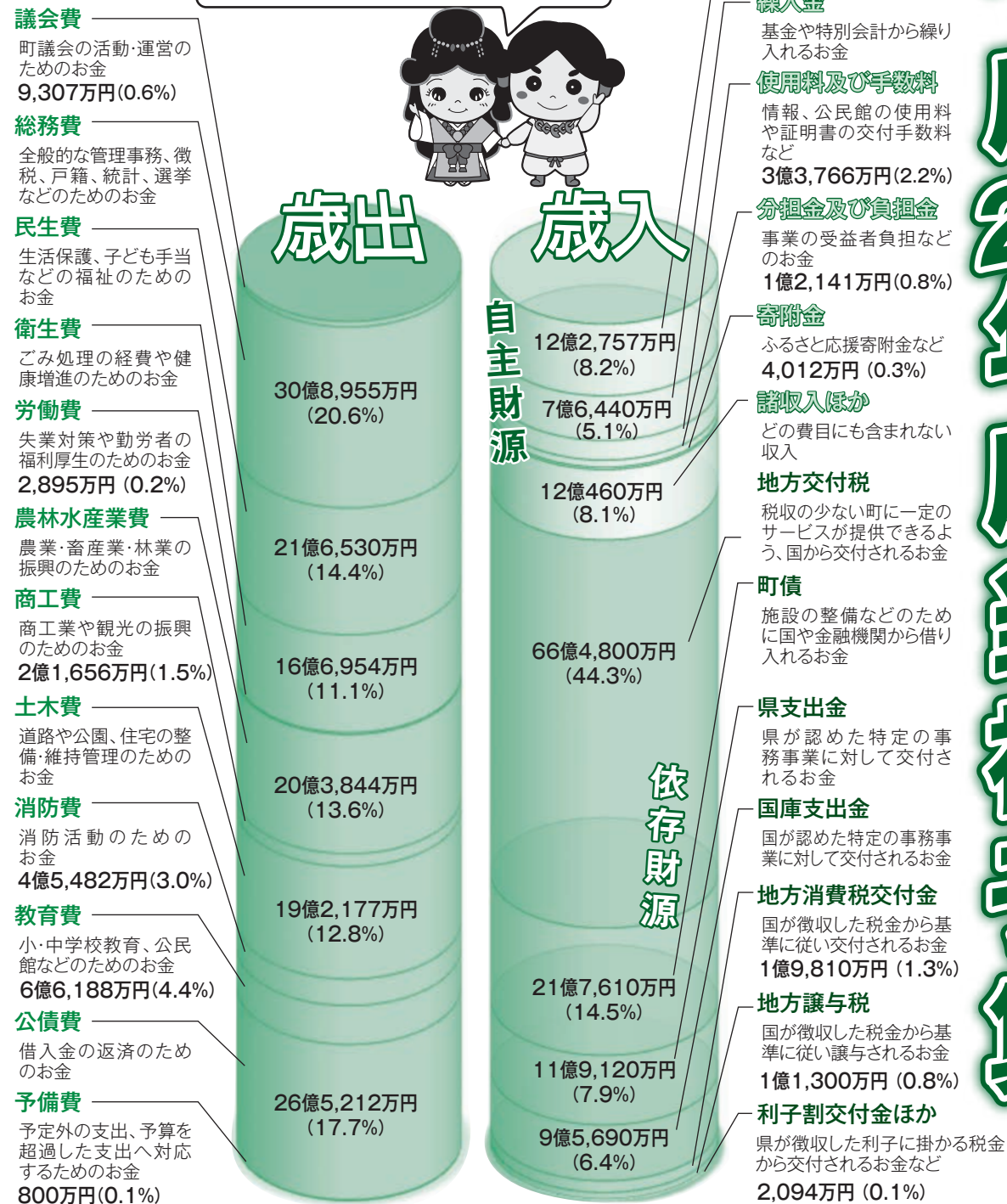
町民1人あたり

167万2,766円

※人口 13,710人
(4月1日現在)

一般会計 150億円

前年度当初予算(144億4千万円)と比較して3.9%、5億6千万円の増



当初予算の特徴

▼町が主体的に収入している自主財源は36億9,576万円(全体の24.7%)、このうち町税が12億2,757万円、前年度比2.6%増となっています。

また、地方交付税や国、県支出金などの依存財源は113億4,244万円(全体の75.3%)で、有利な補助事業や起債を導入し、財政運営を行います。

▼当初予算における建設事業等の予算は29億4,631万円を計上し、繰越事業4億8,164万円とともに、町の基盤整備に努めます。

町で借り入れた町債の返済や人件費などの義務的経費は52億9,447万円(35.3%)となっています。このうち、予算総額に占める人件費の割合は県内市町村で最低の9.0%となっています。

補助費や物件費などの消費的経費は、多面的機能支払事業交付金を町で受けて、地区の組織へ交付することになったなどの要因から、前年比14.8%増の39億7,380万円(26.6%)を計上しています。